

B—15 女子中・高校生の衣服寸法に関する研究(1)  
福島県・宮城県における計測結果につ  
いて

福島大 ○高橋キヨ子  
聖和短大 雁部 愛  
福島県立郡山女子高校 甲野藤ウタ

1. 衣服寸法の基準設定に関する身体計測結果のデータは、柳沢氏を始め諸氏の研究が累積されているが、近年は年毎に青少年の発育がめざましく、その記録は絶えず更新される傾向にある。また、これらの資料のうち中・高校生に関して東北地方に対象をとったものは見当たらず。私共は被服製作における型紙利用の立場から2・3の部位の寸法について疑問を持ったので、当地の中・高校女生徒の計測を行なって体型の特徴を把握したいと思った。

2. 資料としては福島県に成育した中学2年生を3校において計400名、高校2年生を3校において計300名、宮城県に成育した高校1年生200名を得て、衣服寸法に関係ある身長・総丈・背丈・頭囲・胸囲・胴囲・腰囲・背肩幅・頸つけ根囲・腕つけ根囲・腕囲・肘丈・袖丈・手首囲・体重の15項目につき、柳沢氏のグループの計測法に準じて行ない、学校別・職業別に比較した。

3. ① 38年度の学校保健統計調査報告と比較しては中・高校生とも身長・体重・胸囲において優れていた。

② 中学校においては学校間に差があり、示数値の比較でも体型の差が認められた。農家を中心とした職業群と然らざる群との間には、概して差は認めにくかった。

③ 高校においては学校間に有意差の認められる項目が半数ほどあり、職業群別に見ると農家を中心とする群において、長径項目に劣り周径項目に勝れる傾向が見られたが、検定結果では胸囲の他は有意差は認められなかった。